

6, 7月のみごろの花・生きもの

草花



ノアザミ (野薊)
キク科 / 5月中旬～夏まで遅しく咲き続ける



コウゾリナ (髪剃菜)
キク科 / 5月中旬～茎や葉には剛毛が



シライトソウ (白糸草)
シロソウ科 / 5月下旬～林床にそっと開花



スズサイコ (鈴柴胡)
ガガイモ科 / 6月初旬～星型のいじらしい花



ドクダミ (葎草)
ドクダミ科 / 6月上旬～十葉の異名をもつ薬草



ササユリ (笹百合)
ユリ科 / 6月中旬～初夏の里山に香るユリ



オカトラノオ (丘虎の尾)
サクラソウ科 / 6月中旬～草地に開花



ウツボグサ (靱草)
シソ科 / 6月下旬～真夏に花穂が枯れ夏枯草とも



ヤブカンゾウ (藪萱草)
ユリ科 / 7月上旬～夏の畦を彩る橙赤色の花



ヌマトラノオ (沼虎尾)
サクラソウ科 / 7月上旬～湿地に開花



コオニユリ (小鬼百合)
ユリ科 / 7月下旬～うつむき立つ夏の花



ハス (蓮)
ハス科 / 7月下旬～土中にはレンコンが

樹木



コガクウツギ (小萼空木)
アジサイ科 / 5月中旬～林床の日陰で開花



ウツギ (空木)
アジサイ科 / 5月下旬～“卵の花”とも



ムラサキシキブ (紫式部)
シソ科 / 6月中旬～実は紫でも花は淡桃色

六月旧称 二十四節気 七十二候

水無月 芒種
夏至

蜻蛉生／かまきりしょうず
腐草為螢／くされたるくさほたるとなる
梅子黄／うめのみきばむ
乃東枯／なつかれくさかる
苜蒲華／あやめはなさく
半夏生／はんげしょうず

七月旧称 二十四節気 七十二候

文月 小暑
大暑

温風至／あつかぜいたる
蓮始開／はすはじめてひらく
鷹乃学習／たかすなわちわざをならう
桐始結花／きりはじめてはなをむすぶ
土潤溽暑／つちうるおうてむしあつし
大雨時行／たいうときどきふる

樹木



アリマグミ (有馬茱萸)
グミ科／6月～赤い実は鳥が好みます



クマノミズキ (熊野水木)
ミズキ科／6月中旬～乳白色の花は雪のよう



クリ (栗)
ブナ科／6月～クリーム色の花は独特の匂い



ヤマモモ (山桃)
ヤマモモ科／7月上旬～あいな里山のシンボル



ネムノキ (合歓木)
マメ科／7月上旬～夜になると葉を閉じ眠る



リョウブ (令法)
リョウブ科／7月中旬～昔は救荒植物だったそう

動物



コムスジ (小三條)
タテハチョウ科／クズ等が食草のタテハチョウ



ミヤマカラスアゲハ (深山烏揚羽)
アゲハチョウ科／食樹はカラスザンショウ等



ハグロトンボ (羽黒蜻蛉)
カワトンボ科／川辺にひらひらと飛ぶ黒い翅



トノサマガエル (殿様蛙)
アカガエル科／水田に水が入るころ繁殖期を迎えます



ニホンヒキガエル (日本蟾)
ヒキガエル科／雨の日に出会うことが多い



ヒグラシ (蝸)
セミ科／夏の林に響くカナカナ…の合唱



ノコギリクワガタ (鋸鋏形)
クワガタムシ科／クヌギなど広葉樹の樹液に集まる



イソヒヨドリ (磯鶇)
ツグミ科／美声でさえずりながら飛翔します



ホトトギス (杜鵑)
カッコウ科／聞きなしは“テッペンカケタカ”